

に意識させられる特殊なものでした。

この原稿のお話を頂いてから、身近にいる秋高出身の後輩や数年前にお子さんが秋高を卒業したという友人等に「女クラ」の話をしてみると、「初めて聞きました!」「え? 女子だけのクラス?」「共学クラスしかなかったですよ!」と想像以上に驚かれ、こちらが逆にビックリしています。10歳の娘にも「ママは高校1年生の時、女子クラスだったんだよ」と伝えてみたところ「えく!? 女子だけのクラス!? 私は嫌だなく。男子もいた方が絶対楽しいよ!」という反応でした。確かに、幼稚園でも小学校でも女子だけという状況はほとんどないので、彼女にとって「女クラ」というのは、想像するのも難しい不自然な環境なのでしょう。

ハピネッツピンクの学対Tシャツ

毎年夏になると我が家で「パジャマ」として登場するTシャツがあります。秋高三大行事の1つ「学級対抗」のユニホームとして、毎年クラスごとに作っていた「学対Tシャツ」。クラスの中で考えた個性あふれるデザインで、背中側には自分の好きな番号と名前を入れた世界に1つしかないオリジナルTシャツです。女クラの1Bの時のTシャツは、シヨッキンゲピンク。当時はまだ、男性がピンク色のものを身につけることに抵抗があったかもしれませんが、女子しかいないクラスだからこそ、この色を選ぶことができたのでしょう。プロバスケクトボールチーム・秋田ノーザンハピネッツ



1年B組のオリジナル学対Tシャツ



のチームカラーとして知られる「ハピネッツピンク」なので、これを着てハピネッツの応援に行っても違和感がないかもしれません(笑)。ヨレヨレになってきている学対Tシャツ、これからは着るたびにあの頃の楽しかった日々を思い出させてくれることでしょう。

担任のヤマチヨ一先生

ところで、私たち1Bの担任は、英語科の山本長幸先生。先日、先生に当時のことについて電話でインタビューをさせて頂きました。初めに例の学対Tシャツの話をしたところ「俺も家で今でも着てるよ。夏に大活躍してる、

シヨッキンゲピンクのTシャツ!」と先生から即答で返ってきて、思わず笑ってしまいました。

ヤマチヨ一先生は、女クラの担任が決まった当時20代で独身だったため、他の先生方から「大丈夫か?」と心配されたり、男クラの生徒からは「先生だけずるい」と羨ましがられたりしたそうです。今にして思えば、女子生徒だけのクラスが設定されていたことで妙な波紋が生まれていたのですね。

ヤマチヨ一先生が忘れられない思い出として挙げてくださったのは、先生ご自身の結婚披露宴。ちょうど1Bの担任をされていた年にご結婚され、結婚披露宴の余興の際に1B全員が会場に駆けつけ、お祝いの歌を歌ったのです。女子のみ47人! まるでAKBか乃木坂か!? 女クラならではの演出は大成功でした。



1年B組クラス写真

株式会社 サンワ

代表取締役
宮田

さとし
諭
(昭和57年卒)

本社 〒010-0951
秋田市山王5丁目9番31号
TEL 018(863)1345(代表)
FAX 018(862)7179
E-Mail: s.miyata@sanwa-neji.jp

細部眼科医院

院長 細部 泰雄
(昭和57年卒)

(医学博士・日本眼科学会認定眼科専門医)

URL <http://hosobe.com>
TEL 018-883-5088

秋田市保戸野すわ町15-2

《隣設》アイ・ライフ・コンタクトセンター
(コンタクトレンズ)

株式会社 八森運輸



<http://www.hachimori-unyu.com>

代表取締役社長 富山 亨 (昭和57年卒)
Akira Hatakeyama



〒018-1401 湯上市昭和大久保字北野細谷道添 73-103
TEL 018-877-6781
FAX 018-877-6770